

土岐市の男女共同参画推進事業

VOL.13

ほぼ満員の会場、笑い、笑い。去る三月十八日（金）の夜、セラトピア土岐で開催した男女共同参画の市民向け講演会です。落語家で、教育評論家でもある桂文喬さんを講師に迎え、「笑顔、いつもここらに」と題した楽しい講演を聴きました。

文喬さんは、大阪府立大学を卒業後、先亡くなられた桂文枝さん入門。毎年開催する独演会では多くの落語ファンを魅了し、人権問題や環境、健康などをテーマに、年間二百回を超える講演活動をされています。

「差別と区別の違い」など、男性も女性も個人として尊重される社会の必要性について、面白おかしく話されました。

講演を聴いた感想
(参加者アンケートより)

「笑っているうちに、人権尊重

の男女平等がスーツと頭の中に入ってきた」

「ユーモアを交えて楽しく、ためになる話を聞かせてもらい、よかったです。時間もあっという間に過ぎてしまいました」

土岐市では、男女共同参画を推進するため、平成十五年度に「土岐市男女共同参画プラン」を策定し、今回の講演会のように、さまざまな事業を実施しています。

その事業の推進に対する意見・助言をいただく「土岐市男女共同参画懇話会」の委員の方を募集します。

■対象 市内在住で、「男女共同参画の実現」への取り組みに関心をお持ちの十八歳以上の方

■募集人員 三人

■募集期限 五月二十日（金）詳しくは、総合政策課男女共同参画推進係（内線212）へどうぞ。

教育 夢 発信

西陵中学校

本校の特色ある教育



本校は、地域の特性を生かし、地域とともに教育活動を推し進めています。

例えば、選択教科の一部で、地域の方に講師として指導していただいています。

「地域の特色を生かした活動」

選択美術（陶芸）では、地域に在住の猪倉高志先生に習っています。土岐市といえば美濃焼。でも、子どもたちが、粘土に親しむ機会はありません。猪倉先生の指導のもと、粘土の扱いに慣れ親しみ、茶碗づくりだけでなく、広く造形的な器も作っています。作った作品は、本校の電気窯で、素焼き・本焼きを行い、毎年、素晴らしい作品が出来上がっています。

「合唱への取り組み」



十年近くにわたって、全校的に力を入れてきた取り組みとして挙げられるのが「合唱」です。

毎年二学期になると、合唱に携わる専門の先生を本校にお招きし、それまでに創り上げてきた合唱に、さらに磨きをかけていきます。また、秋の音楽祭では、地域の人々にも広く参加を呼び掛け、外部団体を交えながら学級・学年での合唱を披露、交流をしています。こうした合唱の取り組みを通し、学級・学年、そして学校全体としての仲間意識が育ってきています。生徒たちにも合唱は「西陵中学校の伝統」として、意識されるようになってきています。